

| | | |
|--|-------------------------------|--|
| 平成21年度 シラバス | 学年・期間・区分 | 4年次・前期・A群 |
| | 対象学科・専攻 | 電子制御工学科 |
| 応用情報技術 (Applied Information Technology) | 担当教員 | 河野 良弘(Kawano Yoshihiro) 福添 孝明(Fukuzoe Takaaki) |
| | 教員室 | 河野 機械工学科棟1階(42-9082) 福添 電子制御工学科棟3階(42-9086) |
| | E-Mail | kawano@kagoshima-ct.ac.jp fukuzoe@kagoshima-ct.ac.jp |
| 教育形態 / 単位の種別 / 単位数 | 講義・演習 / 学修単位[講義] / 2単位 | |
| 週当たりの学習時間と回数 | 〔授業(100分) + 自学自習(200分)〕 × 18回 | |
| 〔本科目の目標〕 効率の良いプログラミング手法として認知されているオブジェクト指向型プログラムについて基礎的な概念を学び、その代表的言語であるC++を用いたプログラミング技術を習得する。 | | |
| 〔本科目の位置付け〕 情報処理 と情報処理 の内容を発展させた内容であり、工学実験や卒業研究に応用できる。 | | |
| 〔学習上の留意点〕 本科目はC言語が十分に理解できていることを前提としているため、情報処理 と情報処理 を復習しておく必要がある。 | | |
| 〔授業の内容〕 | | |
| 授 業 項 目 | 時限数 | 授 業 項 目 に 対 す る 達 成 目 標 |
| 1. オブジェクト指向型言語 | 24 | 手続き型プログラミングとオブジェクト指向型プログラミングの違いを理解する。 (1)クラスの特徴(コンストラクタ・メンバ) (2)クラスの継承(関数のオーバーライド・オーバーロード) (3)C言語拡張仕様 (4)参照 (5)名前空間 (6)入出力ストリーム (7)演算子の多重定義 (8)テンプレート (9)例外処理 |
| --- 中間試験 --- | 1 | 授業項目1について達成度を確認する。 |
| 2. データ処理 | 10 | 大量のデータを効率よく処理することができる。 (1)ファイル入出力 (2)アルゴリズム |
| --- 期末試験 --- | 1 | 授業項目1~2について達成度を確認する。 |
| 試験答案の返却・解説 | | 各試験において間違った部分を理解出来る。 |
| 〔教科書〕なし 〔参考書・補助教材〕なし | | |
| 〔成績評価の基準〕中間および期末試験(50%) + 小テスト(50%) - 授業態度 | | |
| 〔本科(準学士課程)の学習教育目標との関連〕3-b 〔教育プログラムの学習・教育目標との関連〕3-2 〔JABEEとの関連〕(d)(1) , (c) | | |